



地 域 の 皆 様 と と も に

西山かずみ

市議会活動報告

会報：第13号

いわき市議会／政策総務常任委員会
議会改革推進検討委員会
志帥会（しすいかい）
委員長
副委員長
総務会長
自民党いわき総支部／会 計



討 議 資 料

★発行／いわき市議会議員 西山 一 美 〒970-8026 いわき市平字愛谷町3丁目8-1 TEL.0246-25-2141

ごあいさつ



新年度を迎え、野山は一面新緑となり春本番を迎えました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、私は昨年のいわき市議会議員選挙におきまして、多くの皆様のお支えにより、引き続き、市議会議員として活動をさせていただくこととなりました。大変ありがとうございました。

2期目となる今回は、市政の総合計画、危機管理、財政運営、市税、観光、都市交流文化・スポーツ、消防、選挙及び監査事務などを所管する「政策総務常任委員会」委員長として、また、議会改革や議会の活性化を通して、市民の皆様からの負託に応えるため設置された「議会改革推進検討委員会」副委員長として、議会の行政に対する監視・けん制機能の充実や議員の審議・政策提言能力向上などに関することについて、市政進展のため委員の皆様とともに協議・検討しているところです。

まだまだ、日々勉強中ではありますが、いわき市内で物やお金を生み出す政策を提言し、それを基に市内で消費することで、「モノ・金を市内で循環させる」、いわゆる「市内完結型社会の構築」を大きな目標に掲げ、市民の皆様のための議員活動をひたすらに展開していこうと考えております。

平成29年2月定例会におきまして、「新・いわき市水道事業経営プラン」や「イノベーション・コースト構想」そして「本市における農業・農村振興」などの重要課題について一般質問をいたしましたので、ご報告させていただきます。

いわき市の水道管漏水対応の実績について

漏水対策については、漏水率ゼロに向かって継続的に事業を実施してきたと思うが、震災後の漏水対応の実績は。

【答弁】 年間を通した定期的な対応は、使用水量の少ない深夜、延長3キロメートルから5キロメートルの調査範囲を設定して漏水の有無を調べるための流量測定を行い、その後漏水探知器などを用いた調査により漏水箇所を特定し修繕を行っている。件数は、平成25年から27年の3年間の平均で年間約230件となっている。また、突発的な漏水などは随時修繕を行い、その件数は3年平均で年間約470件となっている。合計年間約700件の修繕を行っている。

イノベーション・コースト構想(水産分野)について

震災以前、栽培漁業や水産資源・海洋漁業・漁場環境など、様々な活動を展開していた県水産試験場は小名浜にある。東日本大震災や第一原発事故により大きな被害を受けたが、現在、水産業の復興・再生に向け、水産試験研究拠点整備事業として動き出しているとのこと、その進捗状況は。

【答弁】 事業主体の県によれば、平成28年5月に基本設計・実施設計にかかる公募型プロポーザル方式による募集手続きを開始し、8月に審査結果を公表。現在は各種設計業務を実施していると聞いている。平成29年度末には建設工事に着手し、平成31年度の供用開始を目指し、整備を進めている。

本市農業の現状について

本市の農業は、全国的な課題である担い手不足と耕作放棄地の問題など複合的な課題があるが、現状について伺う。

【答弁】 2010年と2015年の農林業センサスデータを比較すると、農家戸数は7,823戸

から6,248戸の20.1%減。経営耕地面積は6,210haから5,323haと14.3%減となり、さらには、農業就業人口の65歳以上の占める割合が70.2%と厳しい状況におかれている。



平成29年2月定例会
一般質問 9 回目の登壇！

機構集積協力金交付事業について

ほ場整備を実施している地区においては、農地の集約が進むとともに地域集積協力金に取組める可能性が高くなると聞かすが、ほ場整備のメリットは。

【答弁】 農地の大区画化に合わせ農道・用排水路を一体的に整備することにより、作業効率が向上し、営農労力の削減が図れる。また、地域農業を担う経営体を育成し経営体への農地集積を進めることで経営規模拡大や生産コストが削減され、安定した農業経営が可能となる。さらに、ほ場整備の際、機構集積協力金事業に取組むことで、農地集積の機運が高まり加速化につながるものと考ええる。

地域の整備状況 (抜粋)

いわき市では、震災復興に伴い生活道路整備等に、年間6億円の事業費が予算化されています。私たちの身近な所でも、地域の安全・安心のために着実に整備が進んでいます。さらに整備を進めるために議員は、区長さんなど地域代表の方々と現地調査を実施。その結果を基に、地域から提出された要望書を受けて市役所担当の皆さんと箇所見聞をし、綿密な打ち合わせを行いながら、より良い方法で、地域の安全・安心を最優先に事業を進めています。



上荒川
用水路柵設置工事



中神谷
道路拡張工事



上荒川
永久橋架替工事



本町通り
路面改良工事



上荒川
永久橋架替工事



あとがき

2月定例会では、50年の区切りを迎え、新しい50年に向かういわき市の方向性について、今回は特に、生活に直結している水道の老朽化・耐震化の問題そして料金との関係。また、本市の産業・経済そして人材育成と、浜通り地域において重要事業である「イノベーション・コースト構想」について、ソフト面ばかりではなく目に見えるかたちでの企業や公的施設の本市への誘致に対する考え方。さらに、全国的にも深刻な農業の様々な課題について、本市の現状認識と農業振興における詳細を質問。市民の皆様への代弁者として、合併によって広域多核都市として歩んできた「いわき」が、これからもしっかりと前に歩を進めていけるよう、市政報告会などで市民の皆様の市政に対する思いをお聞きし、自分なりに整理し自分の言葉で、限られた時間ではありますが質問をいたしました。今後とも、議会傍聴または市のホームページ等でご覧いただき、ご指導いただければ幸いです。

西山かずみのプロフィール

昭和34年9月13日（いわき市平上神谷生まれ）
いわきバレーボール協会 副会長／中神谷スポーツ少年団 顧問

西山かずみは、こんな男です!!

中学1年から社会人迄ずっとバレーボール一筋で体力には自信があります。青年会では平七夕まつりと青年じゃんがら大会を連携させ、いわき駅前開催を実現しました。PTA活動では平六小・平二中のPTA会長として、小学校では同窓会活動の復活。中学校では生徒の教育環境充実のため校舎大規模改修のメンバーとして力を注ぎました。

学歴

いわき市立平第六小学校卒
いわき市立平第二中学校卒
国立福島高専機械工学科卒

経歴

アルプス電気(株)東京本社入社。
「タウン情報いわき」の(株)アドプラン入社。
広告代理店(株)シグマ勤務。
29才で総合広告代理店(株)デップを起業。



西山家の系譜

祖父：秋 美（旧姓 宇佐美／平中神谷出身）
祖母：き み（戦前 平仲間町で米屋を営む）

父：光 男（旧姓 村田／平谷川瀬出身）
母：キン子（旧姓 山崎／平上荒川出身）

長姉：則 子（高2逝去）
次姉：貴美子（ひたちなか市在住）
妻・長女（夫・孫2人）・長男